

本部門賞

エレベーターの絵本で広がる世界

あだち えっこ
足立 英津子さん

5歳の息子は、絵本とエレベーターが大好きです。リビングの本棚には、テープで何重にも補修した絵本がびっしりと並んでいます。

公共施設やショッピングセンターに行くと、なぜかエレベーターの場所が直感的に分かるようで、見つけるとドアが開閉する様子をじっと見て研究しています。

ある日、お父さんと本屋さんへ行き、「エレベーターとエスカレーター」という絵本を買ってもらってきました。かがくのとも絵本で、息子にとっては少し難しいように思いましたが、大好きなエレベーターが絵本に出てくるのが、たまらなく嬉しかったようです。読んであげると、最後までしっかり聞いてくれました。何度も読んでいるうちに、自分でも読むようになりました。

この絵本がきっかけで、文字数が多い絵本も手に取るようになりました。エレベーターの研究にも一層熱が入っています。これからも本を通して自分の世界を広げてほしいです。